

ウラナミアカシジミ

Japonica saepestriata saepestriata

兵庫県：要注目

環境省：－

種の概要

前翅長16～23mm程度。翅の表面は橙色で、前翅には外縁部に黒帯を有する。裏面は黄色で黒色条がある。後翅には長い尾状突起を備える。平地から低山地の落葉広葉樹林に生息し、幼虫はクヌギ、コナラ、アベマキなどを食べる。年1化性で、成虫は6月～7月に出現する。



写真提供：刈田悟史

国内分布

北海道、本州、四国

県内分布記録

神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町、加古川市、西脇市、三木市、小野市、姫路市、神河町、福崎町、相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、上郡町、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、丹波篠山市、洲本市、淡路市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○				

特記事項

cランクからに要注目種に変更

県全域の旧36市町に記録があり、広く分布していたが、ほとんどの生息地で1960～80年代に激減した。調査不足からか2000年代以降の記録が少ない。南部ではコナラ、アベマキなどの落葉広葉樹林の中・低木層に常緑樹が繁茂したことにより、中部ではシカの食害により下層植生の単純化が進み、二次林の環境が悪化した。近年個体数がやや回復している。

保護上の留意点